

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(電算印刷株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			○経営による確認: 性別、年齢、障がい、国籍、出身における差別がない体制を経営が主体となり確認をしている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			○個別調査の実施: ハラスメントの禁止を周知徹底し、定期的に全スタッフを対象としたwebでの個別アンケートを実施。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			①ノー残業デーの実施: 毎週水曜日に実施。 ②管理対応: 社内webの工程管理システムで労働時間をチェックし対応を取っている。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			①雇用規定: 国籍による条件は設けていない。 ②人権侵害: 適切な管理、処遇を行っている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			①チェック体制: 安全衛生委員会のもとで労働環境に問題がないか検証を実施している。 ②労働環境の整備: 物品等案内表記を掲示し、整理整頓された環境下で作業ができるようにしている。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			○個別調査の実施: 定期的に全スタッフを対象としたストレスチェックを実施。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			①男女構成比率: 55%（男性）と45%（女性）の構成比率であり男女比率の均等化に力を入れている。 ②社員の子育て応援宣言（長野県第3期）: 登録済				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			○資格取得支援: 各部門で必要となるスキル向上のため、定期的に資格取得セミナー等へ参加をしている。			4	5.5			8	9									
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			○法令順守: 労働基準法を遵守し、適切な賃金体系のもと対応をしている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			①検診体制の確保: 毎年1回健康診断を実施。 ②健康経営優良法人2021: 取得済			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			○ルールに則り適切な処理: 廃棄物毎に社内ルール、エコアクション21に基づく基準に則り管理処理を行っている。												11.6	12.4		14.1		
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			○モニターシステムによる管理: 電気使用量については常時モニターによる使用量チェックを行い、前年対比で毎月管理を行っている。								7.3						13			
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			○モニターシステムによる管理: ムダのない電気使用をモニタリングしながら行っている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			○ルールに則り適切な使用: 廃棄物毎に社内ルール、エコアクション21に基づく基準に則り適切に使用をしている。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合は選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			○印刷溶剤等の管理:作業に必要になる溶剤は分別管理され、ルールに基づき処理をしている。																15					
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			○残紙(余剰紙)の活用:余った用紙は顧客や子どもたち等に、クラフトペーパーとして、メモ帳として配布している。														12.5	14.1						
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			○水資源の管理:使用量及び用途を管理しムダのない活用を行っている。																					
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			○エコアクション21:取得済														12	13.3	14	15				
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】		○情報開示:HPにおいて環境への取組を開示する。 ※登録予定期:2025年4月														12.6							
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			○再生可能エネルギーの活用:同エネルギー方式を市場展開するサプライヤーから電力を購入し、弊社として再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。														13							
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			○印刷用紙:環境負荷を与えないことを前提に、FSC認証紙及び再生紙、更には一般紙を臨機応変に選択して印刷物制作を行っている。													12.2	13	14	15					
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			○就業規則:同規則に規定周知																16	16.5				
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			○就業規則:同規則に規定周知																16					
公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			○就業規則:同規則に規定周知														8.2	9						
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			○プライバシーマーク:取得済																16					
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			○使用原料の管理:サプライチェーンを把握している。																16					
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			○共有及び把握:サプライヤー及び事業パートナーの環境に対する姿勢や倫理面での問題がないことを把握している。													5	8	10	12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			○パートナーシップ構築宣言:作成公表している。													3	8	9	10				17	

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			○ISO9001:取得済				3.9									12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			○ISO9001検証委員会:1か月に1度を目安に検証委員会を全部門参加にて開催し、品質が担保できなかつた商品の検証やマネジメントのあり方の改善について協議をしている。									9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			○製品開発及び提案:環境配慮型原材料を積極的に選定及び提案を実施。					6							12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			①健康格差は正の提案:UDフォントを用いた広く視認性を高めたデザインの提案。 ②地域課題を解決する提案:地域の課題にスポットを当てて課題解決を促すイベント等の展開。 ③プラスチック製品の削減提案:販促物やノベルティグッズの脱プラスチック化提案への取組。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
社会貢献・資源活用	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			○地域貢献事業への取組:慈善事業を含めて地域が抱える課題に定期的に取り組んでいる。				4					9		11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			①自社における地域貢献事業への取組:献血、地域清掃等のボランティア、寄付等の慈善事業を通して地域社会が抱える恒久的及び突発的課題に定期的に取り組んでいる。 ②他団体への参加及び連携しての地域貢献事業 ・会員活動:松本城ロータリークラブ、松本深志ライオンズクラブ、松本商工会議所青年部、松本青年会議所シニア会、松本工業高校人材育成支援ネットワーク、すすき川花火大会実行委員会 ・連携事業:松本市社共との連携協定				4									11		14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			○地域活性事業への参画:地域資源を活用し地域の課題解決及びブランディングをはかる事業へ積極的に参加をしている。									8	9		11	12	13				
組織体制	【内部管理体制】 ・经营理念及び経営目標を社内で共有している	基本			○経営理念及び経営目標:常日頃から周知徹底をしている。										8	9							17
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			○就業規則:同規則に規定周知																		16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			○体制の整備:担当部署を決め対応をしている。																		16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			○随時対話:ステークホルダーとは随時対話をを行い、自社が置かれている評価を客観視できるようにしている。																	16	17
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			○ISO9001:リスクの特定、検証委員会での評価プロセスに則りマネジメントを行っている。																		16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			○地域活動の展開:地域活動やプロジェクトへ積極参加している。																		16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	①BCP(事業継続計画):整備策定を進める。 ②災害リスクの軽減:リモートワークを活用しながらリスク時の機能不全の軽減を目指す。										9		11	13	13.1			16	

【事業承継】
・事業承継に関する検討・対策を行っている

チャレン
ジ

【予定】

○事業承継:人材育成及び後継候補選定を進めてい
く。

8

9

17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当たる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当たる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定